

ひびき

教育目標「なかよく かしこく たくましく」
——一人一人を大切にする「風通し」のよい学校——
多治見市立共栄小学校 R5.9.29

様々な人との「かかわり」を通して学びを深める！
—多様な他者と協働する活動を通して「共生力」を育てていきます—

共栄小学校長 加藤 隆史

9月21日(木)の午後、5年生と「ふれあい共栄」と「東山サロン」の皆さん、共栄校区の民生児童委員の皆さんの24名とポッチャによる交流会を行いました。

ポッチャとは、年齢、性別、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツです。5年生は、この交流会に向けてルールを覚え、練習をしてきました。地域の皆さんも「負けないぞ!」とやる気満々でやってみえました。

交流会終了後の5年生の児童の感想を紹介します。



昨日は、ポッチャ交流会に来てくださりありがとうございました。私は、ポッチャ体験をするのが初めてだったけど、みなさんのおかげで楽しい交流会になりました。白いボールに近づいたら「すごい!」「上手」などと、温かい言葉を言ってくださって、やさしい人たちだと思いました。心も温まりました。

共栄小にまた来てください。



5年生は、地域の人たちだけでなく、共栄保育園の園児との交流会も、今年に入って2度行っています。また、今後、3年生では地域に指導していただき地域の方とともに宮太鼓を行います。

このような様々な人々との「かかわり」を通して体験的に学ぶことは、日常の授業では、十分に学ぶことができない大きな意義が、子どもたちにとって三つあると私は考えます。

まず一つ目は、「人の思いや働きに共感しながら学ぶ」ことができることです。二つ目は「自分と違う立場に立って考える」ことです。そして、三つめは「多様な人々が共に生きる社会の一員としての自覚を育む」ことです。こうした学びを通して、自分のこととして様々な問題をとらえることができる力や相手を思いやり尊重し合う心を育てていきたいです。

新型コロナウイルス感染症の影響もあって、人と人との「かかわり」や「つながり」が希薄になりつつある今日、こうした教育活動を意図的に仕組んでいく必要を強く感じています。来年度は本校も学校運営協議会を設置します。この組織を中心に、こうした活動を活発にしていきたいです。

